

基本情報



【年 齢】
31歳
【出身地】
熊本県芦北町
【転出元】
熊本県熊本市
【前 職】
熊本大学 特定事業研究員
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

熊本地震が発災した2016年から現在に至るまでに、地元大学の研究員として復興の現場で活動をしてきました。その活動も日常的な住民の方とのコミュニケーションから復興事業へのお手伝いなど多岐にわたってしてきました。足繁く益城町に通うなかで、インフラ復旧と住まいの再建が復興のゴールになっているのではないかと課題が芽生え、大文字の復興ではない、復興(地域づくり)の在り方を提示する必要があるのではないかと考えました。地域おこし協力隊として、この先10年の暮らしのイメージを地域と一緒に模索しながら、培った経験を地域により還元できる手段として、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

大文字の復興ではなく、地域に根ざした復興(地域づくり)を目指したいと考えています。そのために、断片的になりがちなハード事業とソフト事業の両方に関わりを持ちながら、軸の通ったまちづくり活動の実践を続けていきたいと考えています。地域と協働した活動の結果、町内の暮らしに少しでも貢献できたらと思います。地域おこし協力隊としての活動の傍ら、益城町で建築デザインの仕事所も開設しました。任期後も継続して公共事業へのデザイン・発注協力、地域まちづくりへの伴走支援を行いながら、民間事業者としても積極的な活動を目指しています。半民半官としての動きを維持しながら、町内外、県外にも活動を徐々に広げたいと思います。

活動内容

●公共空間活用プロジェクト

熊本地震後に整備された公共空間を地域の方に愛してもらえるように誕生(竣工)をお祝いしたり、日常の延長につながるイベントを実施したり、地域と協働した活動を行っています。その一部は、熊本地震からの記憶の継承としても位置づけられています。



△木山橋開通記念イベント



△熊本地震4.14のつどい

●公共事業デザインプロジェクト

公共性の高い事業は関係者も多く、未来形を想像するのが困難です。関係の目線を共有するために、与件をヒアリングし、未来のイメージを描き、事業を整える取り組みを行っています。イメージはあくまでたたき台で、未来のために訂正を繰り返します。



△K地区施設周辺整備PJ



△T地区広場整備PJ

●まちづくりスクールプロジェクト

まちづくり活動は個人の想いの強さから始まります。一方で、多くの知恵や協力のうでで成り立つとも考えています。企画立案の視野を広げ、実践の質を高めるプログラムの開発を行っています。23年度初開講なので結果は未だですが、持続的な活動を目指しています。



スクール受講のポイント

- 1) まちづくりへの想いを持った仲間に出会える
- 2) まちづくりの最前線に関わる講師と学びを高めることができる
- 3) 企画立案の視野を広げ、実践の質を高める技術が身につく
- 4) 提案で終わるだけでなく、実施まで目指す
- 5) 協力隊が伴走支援を行う

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) yoshiikai.yuta@gmail.com
(電話番号(職場[復興まちづくりセンターにじいろ])) 096-284-1711
※普段は復興まちづくりセンターにじいろを拠点にしています。
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(協力隊Instagram) 右図QRコード
(協力隊FB) <https://www.facebook.com/profile.php?id=100082493079756>



MASHIKI_KYORYOKUTAI